

海辺新聞

2022年5月29日
日曜日

シーサイドブックス
SeasideBooks



Twitter
mtn_river



Website
libsy.net

新刊不作深刻に 2年連続新刊なしか

文芸サークル「シーサイドブックス」の新刊の制作が振るわない。同サークルでは2020年11月に発行した海外旅行記『連ねたり想う Vol.1 イギリス・アイルランド』以降、新作発表の見通しが立たない状況が続いている。

『連ねたり想う』は著者である山川夜高が2018年の正月に、くじで百万円当選をきっかけに欧州周遊を行った記録のエッセイ・写真集。旅程では2018年8月にイギリスに入国し、アイルランドからオランダ・ドイツ・チェコ・ポーランド・オーストリアを経由して地中海のマルタ共和国に滞在したのち同年10月に帰国している。しかし旅行記はイギリス・アイルランドを特集した『Vol.1』までしか刊行されておらず、オランダ滞在以降の日程を収録した『Vol.2』刊行のめどは立っていない。

ドブックス代表の山川夜高は「旅行中にはいやな思い出や悲しい出来事もあった。制作のために思い出すことが精神的なダメージにつながる。というか当時の手書きの日記を文字起こしする作業が面倒だし、写真の選定やレタッチの量も多い。やる気が無いわけではないので、気長に待ってほしい」と続刊の制作を語る胸中を明かした。また小説の執筆についても「基本的に筆が遅く、そのうえ短編を書くのは苦手だ。短編の『薄い本』を定期的に発行するのも難しく、長編は書くのに時間がかかるためコンスタントに発表できない」と述べた。「最近はお絵描きをしている方が楽しい」とも言い、ますます小説の執筆から遠のいている。



呼吸書房 新装版表紙 山川夜高が担当

文芸サークル「呼吸書房」の小説『すべての樹木は光』（作||風野湊・表紙装画||佐野裕一）新装版の表紙デザインを山川夜高が担当した。同書は2020年11月に初版第1版が発行され、2022年5月に表紙デザインを一新した。

京のベッドタウンを舞台にした群像劇『これは物語ではない』の最新話は2017年以降更新されておらず、続きを望む声が上がっている。2000年代の架空の邦楽インディーズロックバンドを題材にした作品『Drive to Pluto』は山川のツイッター上で小説未登場の新キャラクターが大量に追加され、本編もないのに設定ばかりが膨らみ続けている。

山川家のサボテン開花 可憐な一輪ひらり

20日正午ごろ、近所の園芸店で安売りされていた棘なしサボテンのアストロフィツム「ルリ兜」が黄色い花を咲かせた。栽培者の山川は「かわいい」と感想を述べ、自身のツイッターで写真を見せびらかした。



花は開花後1日で閉じた
撮影=山川夜高

『すべての樹木は光』書影
同書は第三十四回文学フリマ東京
京出店サークル「呼吸書房」の出
店ブース(ク・21)とオンライン
ストアで販売される。
●呼吸書房(代表・風野湊)
ウェブサイト・kokushobo.com
通販・kokushobo.booth.jp
ツイッター・@feelingskyblue

ねずみちゃん
LINEスタンプなるほどね
40種
好評配信中

その日、
東京に
ヒトデが
降った。
短編小説
星降る昼

シーサイドブックス
SeasideBooks
小説『これは物語ではない』
透明人間は実在した!?
日常を揺るがす実験小説
『Drive to Pluto』
異端のロックバンド
その生涯を完全密着取材

表紙も本文もつくれる!
文芸デザイン 有償依頼制作
同人誌向け 特殊装丁や印刷所の相談も◎
特設サイト準備中につき、
詳細は個別にお問い合わせください。